

(様式例収第1号の1)

令和 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式(樹種名) 連合会抜取調査野帳(果実数調査・樹体別)

[illegible]

(以下略)

改正後

(様式例第1号の1)

令和 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式(樹種名) 連合会抜取調査野帳(果実数調査・樹体別)

収穫共済区分		方式		支払開始割合		野帳枚数		枚のうち 枚																																
評価	組合	階層	共済	組合員	現地調査	年月日	評価	者																																
区域名	等名	区分名	番号	等氏名	年月日⑦																																			
引受状況				被害状況				現地調査の方法																																
樹園地の地名番	類区分	細区分	品	樹種	引受面積	引受本数	災害の種類	災害発生日	被害割合	収穫開始予定年月日④	見込収穫量	分割減収量	分割事由	日数差④-⑦	植栽本数	着果樹体数①	階層区分をした場合	検見	実測																					
	類	群		年	a	本		年月日	kg	%	年月日	kg	kg		日	本	本	A階層	B階層	C階層	調査	調査																		
調査階層区分(A・B・Cの別)																																								
階層区分別の調査標本数(n)																																								
調査標本番号																																								
主枝別の着果枝(群)数	第1主枝		本(群)																																					
	第n主枝																																							
	合計		②																																					
	第1主枝		果実数		粒																																			
主枝別の調査標本(着果枝・着果群等)の果実数及び調整果実数			うち調整果実数		粒																																			
	第n主枝		果実数																																					
			うち調整果実数																																					
	平均		果実数		③																																			
			うち調整果実数		④																																			
	調査標本の果実数		果実数		⑤=②×③																																			
		うち調整果実数		⑥=②×④																																				
果実重の調査	秤量調査の場合				階層区分をしない場合				階層区分をした場合				標本果実番号				1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12				計				平均果実重				日数差に応じた果実重肥大推定指数				日数差に応じた果実重肥大推定指数							
	調査果実数				粒								横径				A																							
	総重量				g								縦径				A																							
	平均果実重				g								果実重				A																							
	⑨=⑧/⑦												B																											
	日数差に応じた果実重肥大推定指数				⑩								C																											
	修正平均果実重				g								果実重				B																							
	⑪=⑨×⑩												C																											
													果実重				C																							
実測調査の検見	果実数				粒								検見調査の調査標本				平均果実重				粒																			
	うち調整果実数				粒												⑫=Σ⑤/n																							
	⑬												うち調整果実数				⑭=Σ⑥/n																							
	果実数												調査標本平均果実数				粒																							
	⑮												⑮=⑬×⑭																											
	うち調整果実数												調査標本平均調整果実数				粒																							
	⑯												⑯=⑮×⑰																											
	果実数				%								調査標本平均見込収穫果実数				粒																							
	⑲=⑮/⑯×100												⑲=⑮-⑯+⑰×調整係数()																											
	うち調整果実数												見込収穫量				kg																							
⑳=⑱/⑲×100												㉑=Σ(㉑×①×(①又は⑱))																												

(以下略)

現行

(様式例第1号の2)

令和 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式(ぶどう) 連合会抜取調査野帳(果実数調査・区画別)

収穫共済区分		方式		支払開始割合						野帳枚数		枚のうち		枚		
評価 区域名		組合 等名		階 層 区分名		共済 番号		組合員 等氏名		現地調査 年月日⑦	年 月 日	評価 者印				
引受状況						被害状況										日数差 ①-⑦
樹園地の 地名地番	類区分	細区分	品種	樹 齢	引受 面積	引受 本数	災害の種類	災害発生 年月日	損害通知(定期)			組合等現地評価の結果				
									申 告 収穫量	被害 割合	収穫開始予定 年月日 ④	見 込 収穫量	分 割 減収量	分割事由		
	類	群		年	a	本		年月日	kg	%	年 月 日	kg	kg		日	
現地調査 実測着果 面積(区画)	棚区画で行う場合		樹園地区画数 ① 区画		メートル法の樹園地区画数 (②/4㎡)		調査階層別区画数									
	メートル法の面積 で行う場合		面 積 ② ㎡		樹園地区画数 ① 区画		A階層 区画			B階層 区画			C階層 区画			
調査階層区分(A・B・Cの別)																
階層区分別の調査標本数(n)																
調査標本番号																
検見調査	果房数	③	房													
	うち調整果実数	④	房													
実測調査 (LMS級 別)	果房数(L級)	⑤	房													
	うち調整果房数	⑥	房													
	果房数(M級)	⑦														
	うち調整果房数	⑧														
	果房数(S級)	⑨														
	うち調整果房数	⑩														
	合 計	⑪														
	うち調整果房数	⑫														
				階層区分をしない場合			階層区分をした場合									
							A階層			B階層			C階層			
				L	M	S	L	M	S	L	M	S	L	M	S	
果実重 の調査	調査果房数	⑬	房	房	房											
	総重量	⑭	g	g	g											
	平均果房重	⑮=⑭/⑬	g	g	g											
	日数差に応じた果実重肥大推定指数	⑯														
	修正平均果房重	⑰=⑮×⑯	g	g	g											
実測調査 の 調 査 標 本	実測	果房数	⑱		房											
		うち調整果房数	⑲		房											
	検見	果房数	⑳		房											
		うち調整果房数	㉑		房											
実 測 修正率	果房数	㉒=⑱/⑲×100		%												
	うち調整果房数	㉓=⑲/㉑×100		%												
配分率	果房数	㉔=Σ⑤、⑦又は⑨/⑱×100	%													
	うち調整果房数	㉕=Σ⑥、⑧又は⑩/⑲×100	%													
調査標本平均果房数		㉖=Σ③/n×㉒×㉔		房												
調査標本平均調整果房数		㉗=Σ④/n×㉓×㉕		房												
調査標本平均見込収穫果房数		㉘=㉖-㉗+㉑×調整係数()		房												
見込収穫量 ㉙=Σ(㉘×①×⑦)		kg		分 割 減 収 量		kg		分 割 事 由								

(以下略)

改正後

(様式例収第1号の2)

令和 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式(ぶどう) 連合会抜取調査野帳(果実数調査・区画別)

収穫共済区分		方式		支払開始割合						野帳枚数		枚のうち		枚		
評価 区域名		組合 等名		階 層 区分名		共済 番号		組合員 等氏名		現地調査 年月日㉔	年 月 日	評価 者				
引受状況						被害状況										日数差 ①-⑦
樹園地の 地名地番	類区分	細区分	品種	樹 齢	引受 面積	引受 本数	災害の種類	災害発生 年月日	損害通知(定期)			組合等現地評価の結果				
									申 告 収穫量	被害 割合	収穫開始予定 年月日 ④	見 込 収穫量	分 割 減収量	分割事由		
	類	群		年	a	本		年月日	kg	%	年 月 日	kg	kg		日	
現地調査 実測着果 面積(区画)	棚区画で行う場合		樹園地区画数 ① 区画		メートル法の樹園地区画数 (②/4㎡)		調査階層別区画数									
	メートル法の面積 で行う場合		面 積 ② ㎡		樹園地区画数 ① 区画		A階層 区画			B階層 区画			C階層 区画			
調査階層区分(A・B・Cの別)																
階層区分別の調査標本数(n)																
調査標本番号																
検見調査	果房数	③	房													
	うち調整果実数	④	房													
実測調査 (LMS級 別)	果房数(L級)	⑤	房													
	うち調整果房数	⑥	房													
	果房数(M級)	⑦														
	うち調整果房数	⑧														
	果房数(S級)	⑨														
	うち調整果房数	⑩														
	合 計	⑪														
	うち調整果房数	⑫														
				階層区分をしない場合			階層区分をした場合									
							A階層			B階層			C階層			
				L	M	S	L	M	S	L	M	S	L	M	S	
果実重 の調査	調査果房数	⑬	房	房	房											
	総重量	⑭	g	g	g											
	平均果房重	⑮=⑭/⑬	g	g	g											
	日数差に応じた果実重肥大推定指数	⑯														
	修正平均果房重	⑰=⑮×⑯	g	g	g											
実測調査 の調査 標本	実測	果房数	⑱	房												
		うち調整果房数	⑲	房												
	検見	果房数	⑳	房												
		うち調整果房数	㉑	房												
実 測 修正率	果房数	㉒=⑱/⑲×100	%													
	うち調整果房数	㉓=⑲/㉑×100	%													
配分率	果房数	㉔=Σ⑤、⑦又は⑨/⑱×100	%													
	うち調整果房数	㉕=Σ⑥、⑧又は⑩/⑲×100	%													
調査標本平均果房数		㉖=Σ③/n×㉒×㉔	房													
調査標本平均調整果房数		㉗=Σ④/n×㉓×㉕	房													
調査標本平均見込収穫果房数		㉘=㉖-㉗+㉗×調整係数()	房													
見込収穫量 ㉙=Σ(㉘×①×⑦)		kg		分 割 減 収 量		kg		分 割 事 由								

(以下略)

現行

(様式例第1号の3)

令和 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式(なし) 連合会抜取調査野帳(果実数調査・樹体4分の1別)

収穫共済区分		方式		支払開始割合				野帳枚数		枚のうち 枚																
評価		組合		階層		共済		組合員		現地調査	年 月 日															
区域名		組合	等名	区分名		番号		等氏名		年月日⑦	評価者⑧															
引受状況						被害状況																				
樹園地の地名地番	類区分	細区分	品種	樹齢	引受面積	引受本数	災害の種類	災害発生年月日	損害通知(定期)		組合等現地評価の結果															
	類	群		年	a	本		年 月 日	申告 収穫量	被害割合	収穫開始予定 年月日 ④															
									kg	%	見込 収穫量															
											kg															
											kg															
											分割事由															
											④-⑦															
											日															
植栽本数	本		着果樹体数	①		階層区部をした場合		現地調査の方法	検見	調査																
						A階層	B階層	C階層	実測																	
			本	本		本	本	本		樹体4分の1調査																
調査階層区分(A・B・Cの別)																										
階層区分別の調査標本数(n)																										
調査標本番号																										
検見調査	主枝別の着果枝(群)数	第 1 主 枝		本(群)																						
		第 n 主 枝																								
		合 計		②																						
	主枝別の調査標本(着果枝・着果群等)の果実数及び調整果実数	第1主枝	果実数		粒																					
			うち調整果実数		粒																					
		第n主枝	果実数																							
			うち調整果実数																							
		合 計	果実数																							
			うち調整果実数																							
		平 均	果実数		③																					
			うち調整果実数		④																					
	調査標本の果実数	果実数		⑤=②×③																						
うち調整果実数		⑥=②×④																								
実測調査	調査標本4分の1		果実数		⑦		粒																			
			うち調整果実数		⑧		粒																			
	調査標本の果実数		果実数		⑨=④×⑦×②		粒																			
			うち調整果実数		⑩=④×⑧×②		粒																			
果実重の調査	秤量調査の場合						尺度適用調査の場合																			
			階層区分をしない場合		階層区分をした場合		標準果実番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	平均 果実重	日数差に応じた 果実重肥大推定 指数	修正平均 果実重				
							横径																			
							縦径																			
							果実重																			
							調査果実数		A		B		C													
							総重量		A		B		C													
							平均果実重		A		B		C													
							日数差に応じた果実 重肥大推定指数		A		B		C													
							修正平均果実重		A		B		C													
							⑮=⑬×⑭		A		B		C													
	実測調査標本の			階層区分をしない場合		階層区分をした場合				階層区分をしない場合		階層区分をした場合		分割評価												
								A階層		B階層		C階層		分割減収量		分割事由										
実測		果実数		粒				検見調査の調査標本		平均果実重		⑦=Σ⑤/n		粒												
		うち調整果実数		粒						うち平均調整果実数		⑧=Σ⑥/n		粒												
検見		果実数		粒						調査標本平均果実数		⑨=⑦×⑧		粒												
		うち調整果実数		粒						調査標本平均調整果実数		⑩=⑧×⑨		粒												
実測修正率		果実数		%						調査標本平均見込収穫果実数		⑪=⑨-⑩+⑩×調整係数()		粒												
		うち調整果実数		%						見込収穫量		⑫=Σ(⑪×①×(⑬又は⑭))		kg												

(以下略)

改正後
(様式例第1号の3)

令和 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式(なし) 連合会抜取調査野帳(果実数調査・樹体4分の1別)

収穫共済区分		方式		支払開始割合				野帳枚数		枚のうち 枚																
評価		組合		階層		共済		組合員		現地調査	年 月 日															
区域名		組合	等名	区分名		番号		等氏名		年月日⑦	評価者															
引受状況						被害状況																				
樹園地の地名地番	類区分	細区分	品種	樹齢	引受面積	引受本数	災害の種類	災害発生年月日	損害通知(定期)		組合等現地評価の結果															
	類	群		年	a	本		年 月 日	申告 収穫量	被害割合	収穫開始予定 年月日 ④															
									kg	%	見込 収穫量															
											kg															
											kg															
											分割事由															
											④-⑦															
											日															
植栽本数	本		着果樹体数	①		階層区分をした場合		現地調査の方法	検見	調査																
						A階層	B階層	C階層	実測																	
			本	本		本	本	本		樹体4分の1調査																
調査階層区分(A・B・Cの別)																										
階層区分別の調査標本数(n)																										
調査標本番号																										
検見調査	主枝別の着果枝(群)数	第 1 主 枝		本(群)																						
		第 n 主 枝																								
		合 計		②																						
	主枝別の調査標本(着果枝・着果群等)の果実数及び調整果実数	第1主枝	果実数		粒																					
			うち調整果実数		粒																					
		第n主枝	果実数																							
			うち調整果実数																							
		合 計	果実数																							
			うち調整果実数																							
		平 均	果実数		③																					
			うち調整果実数		④																					
	調査標本の果実数	果実数		⑤=②×③																						
うち調整果実数		⑥=②×④																								
実測調査	調査標本4分の1		果実数		⑦		粒																			
			うち調整果実数		⑧		粒																			
	調査標本の果実数		果実数		⑨=④×⑦×②		粒																			
			うち調整果実数		⑩=④×⑧×②		粒																			
果実重の調査	秤量調査の場合						尺度適用調査の場合																			
			階層区分をしない場合		階層区分をした場合		標準果実番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	n	計	平均果実重	日数差に応じた果実重肥大推定指数	修正平均果実重				
					A階層 B階層 C階層		横径		mm										⑬							
	調査果実数		⑪		粒				縦径		mm										⑭=⑬÷⑬					
	総重量		⑫		g						g															
	平均果実重		⑬=⑫÷⑪		g						g															
	日数差に応じた果実重肥大推定指数		⑭																							
	修正平均果実重		⑮=⑭×⑬		g																					
実測調査			階層区分をしない場合		階層区分をした場合				階層区分をしない場合		階層区分をした場合		分割評価		分割事由											
					A階層 B階層 C階層						A階層 B階層 C階層															
	実測	果実数		⑯		粒				平均果実重		⑰=Σ⑤÷n		粒												
		うち調整果実数		⑱		粒				うち平均調整果実数		⑲=Σ⑥÷n		粒												
	検見	果実数		⑳		粒				調査標本平均果実数		㉑=㉒×㉓		粒												
		うち調整果実数		㉒		粒				調査標本平均調整果実数		㉓=㉔×㉕		粒												
	実測修正率	果実数		㉖=㉑÷㉒×100		%				調査標本平均見込収穫果実数		㉗=㉖-㉘+㉙×調整係数()		粒												
		うち調整果実数		㉘=㉑÷㉒×100		%				見込収穫量		㉙=Σ(㉑×①×(㉒又は㉓))		kg												

(以下略)

現行

(様式例第1号の4)

令和 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式(くり)連合会抜取調査野帳(樹体別)

収穫共済区分		方式		支払開始割合				野帳枚数		枚のうち 枚												
評価		組合		階層		共済		組合員		現地調査	年 月 日											
区域名		等名		区分名		番号		等氏名		年月日⑦	評価者印											
引受状況						被害状況						日数差 ①ー⑦										
樹園地の 地名地番	類 区分	細 区分	品種	樹 齢	引受 面積	引受 本数	災害の 種 類	災害発生 年 月 日	損害通知(定期)				組合等現地評価の結果									
									申告 収穫量	被害割合	収穫開始予定 年月日 ①		見 込 収穫量	分 割 減収量	分割事由							
	類	群		年	a	本		年 月 日	kg	%	年 月 日	kg	kg		日							
植栽本数	本 着樹樹体数					現地調査の方法	検見 実測	調査 調査														
	① 階層区部をした場合																					
	A階層 B階層 C階層																					
	本 本 本 本																					
調査階層区分(A・B・Cの別)																						
階層区分別の調査標本数(n)																						
調査標本番号																						
主枝別の 着樹枝(群) 数	第 1 主 枝					本(群)																
	第 n 主 枝																					
	合 計					②																
主枝別の 調査標本 (着樹枝・ 着樹等) の着樹数	第1主枝	着樹数				径																
		うち調整着樹数				径																
	第n主枝	着樹数																				
		うち調整着樹数																				
	合 計	着樹数																				
		うち調整着樹数																				
平 均	着樹数				③																	
	うち調整着樹数				④																	
調査標本の着樹数	着樹数				⑤=②×③	径																
	うち調整着樹数				⑥=②×④	径																
調査標本の落樹数	落樹数				⑦	径																
	うち調整着樹数				⑧	径																
調査標本合計	着樹数				⑨=⑤+⑦	径																
	うち調整着樹数				⑩=⑥+⑧	径																
果 実 重 の 調 査	秤量調査の場合						尺度適用調査の場合															
	調査着樹数 ⑪		階層区分を しない場合	階層区分をした場合			標本果実番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	n	計	平均 果実重 ⑬=⑫/⑪	日数差に 応じた果 実重肥大 推定指数 ⑭	修正平均 果 実 重 ⑮=⑬×⑭	
				A階層	B階層	C階層		階層 区分	⑯	径												
				調査着樹数					A													
				総果重(いがを除く。)					B													
				平均果実重					C													
日数差に応じた果実 重肥大推定指数		階層区分を しない場合	階層区分をした場合	A階層	B階層	C階層	果実重	A										g			g	
修正平均果実重								B														
⑮=⑬×⑭		階層区分を しない場合		階層区分をした場合			階層区分をした場合															
実 測 調 査 標 本 の 検 見	着樹数	②	階層区分を しない場合	A階層	B階層	C階層	検見調査の 調査標本	平均着樹数 ⑦=Σ①/n										径				
								うち平均調整着樹数 ⑧=Σ⑩/n										径				
	うち調整着樹数		③	階層区分を しない場合	A階層	B階層	C階層	調査標本平均着樹数										径				
	②							②=⑦×⑤														
実 測 修 正 率	着樹数	③	階層区分を しない場合	A階層	B階層	C階層	調査標本平均調整着樹数										径					
							③=⑧×⑤															
うち調整着樹数		④	階層区分を しない場合	A階層	B階層	C階層	調査標本平均見込収穫着樹数										径					
④							④=③-③+③×調整係数()															
着樹数		⑤=②/③×100	階層区分を しない場合	A階層	B階層	C階層	見込収穫量										kg					
⑤							⑤=Σ③×①×(⑤又は⑥))															
うち調整着樹数		⑥=②/④×100	階層区分を しない場合	A階層	B階層	C階層	分割減収量		kg	分割事由												
⑥																						

(以下略)

改正後

(様式例収第1号の4)

令和 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式(くり)連合会抜取調査野帳(樹体別)

収穫共済区分		方式		支払開始割合				野帳枚数		枚のうち 枚											
評価		組合		階層		共済		組合員		現地調査	年 月 日	評価									
区域名		等名		区分名		番号		等氏名		年月日⑦		者									
引受状況						被害状況						日数差 ①ー⑦									
樹園地の 地名地番	類 区分	細 区分	品種	樹 齢	引受 面積	引受 本数	災害の 種 類	災害発生 年 月 日	損害通知(定期)				組合等現地評価の結果								
									申告 収穫量	被害割合	収穫開始予定 年月日 ①		見 込 収穫量	分 割 減収量	分割事由						
	類	群		年	a	本		年 月 日	kg	%	年 月 日	kg	kg		日						
植栽本数	本 着樹樹体数 ①		階層区分をした場合			現地調査の方法	検見	調査													
			A階層	B階層	C階層																
			本	本	本																
			本	本	本																
調査階層区分(A・B・Cの別)																					
階層区分別の調査標本数(n)																					
調査標本番号																					
主枝別の 着樹枝(群) 数	第 1 主 枝		本(群)																		
	第 n 主 枝																				
	合 計		②																		
主枝別の 調査標本 (着樹枝・ 着樹等) の着樹数	第1主枝	着樹数		本																	
		うち調整着樹数		本																	
	第n主枝	着樹数																			
		うち調整着樹数																			
	合 計	着樹数																			
		うち調整着樹数																			
	平 均	着樹数		③																	
		うち調整着樹数		④																	
調査標本の着樹数	着樹数		⑤=②×③		本																
	うち調整着樹数		⑥=②×④		本																
調査標本の落樹数	落樹数		⑦		本																
	うち調整着樹数		⑧		本																
調査標本合計	着樹数		⑨=⑤+⑦		本																
	うち調整着樹数		⑩=⑥+⑧		本																
果 実 重 の 調 査	秤量調査の場合						尺度適用調査の場合														
			階層区分を しない場合	階層区分をした場合			標本果実番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	n	計	平均 果実重	日数差に 応じた果 実重肥大 推定指数	修正平均 果 実 重
				A階層	B階層	C階層		⑩	本												
	調査着樹数		⑪	本																	
	総着樹重(いがを除く。)		⑫	g																	
	平均果実重		⑬=⑫/⑪	g																	
	日数差に応じた果実 重肥大推定指数		⑭																		
	修正平均果実重		⑮=⑬×⑭	g																	
	調査着樹数		⑯	本																	
	うち調整着樹数		⑰	本																	
調査標本平均着樹数		⑱=⑯×⑰	本																		
調査標本平均調整着樹数		⑲=⑱×⑰	本																		
調査標本平均見込収穫着樹数		⑳=⑲×⑰	本																		
見込収穫量		㉑=⑳×㉑×(㉑又は㉒)	kg																		
分割減収量		㉒=㉑×㉑×(㉑又は㉒)	kg																		
分割事由																					

(以下略)

(以下略)

改正後

(様式例①第1号の5)

令和 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式(キウイフルーツ) 連合会抜取調査野帳(果実数調査・区画別)

収穫共済区分		方式		支払開始割合				野帳枚数		枚のうち 枚										
評価		組合		階層		共済		組合員		現地調査	年 月 日									
区域名		等名		区分名		番号		等氏名		年月日⑦	評価者									
引受状況						被害状況														
樹園地の地名地番	類区分	細区分	品種	樹齢	引受面積	引受本数	災害の種類	災害発生年月日	損害通知(定期)			組合等現地評価の結果			日数差 ④-⑦					
									申告 収穫量	被害割合	収穫開始予定 年月日 ④	見込 収穫量	分割 減収量	分割事由						
	類	群		年	a	本		年 月 日	kg	%	年 月 日	kg	kg		日					
現地調査実測着果面積 (区画)		棚区画で行う場合		樹園地区画数 ①		メートル法の樹園地区画数 区画 (②/4㎡)		調査階層別区画数												
		メートル法の面積で行う場合		面積 ②		樹園地区画数 ①		区画		A階層		B階層		C階層						
調査階層区分(A・B・Cの別)																				
階層区分別の調査標本数(n)																				
調査標本番号																				
検見調査	果実数 ③																			
	うち調整果実数 ④																			
実測調査	果実数 ⑤																			
	うち調整果実数 ⑥																			
果実重の調査	秤量調査の場合				尺度適用調査の場合															
		階層区分をしない場合	階層区分をした場合			標本果実番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	n	計	平均 果実重	日数差に応じた果実重肥大推定指数	修正平均 果実重
			A階層	B階層	C階層		mm													
	調査果実数 ⑦	粒				横径	階層区分	A												
	総重量 ⑧	g				縦径	階層区分	A												
	平均果実重 ⑨=⑧/⑦	g				果実重	階層区分	A												
	日数差に応じた果実重肥大推定指数 ⑩					g														
	修正平均果実重 ⑪=⑨×⑩	g				階層区分	A													
			階層区分をしない場合	階層区分をした場合				階層区分をしない場合	階層区分をした場合			分割評価								
A階層				B階層	C階層	A階層			B階層	C階層	分割減収量	分割事由								
実測調査標本の検見	実測	果実数 ⑬	粒				検見調査の調査標本	平均果実重 ⑭=Σ③/n	粒				kg							
		うち調整果実数 ⑮	粒					うち平均調整果実数 ⑯=Σ④/n	粒											
	検見	果実数 ⑰					調査標本平均果実数 ⑰=⑭×⑮	粒												
		うち調整果実数 ⑱					調査標本平均調整果実数 ⑱=⑯×⑱	粒												
実測修正率	果実数 ⑲=⑬/⑱×100	%				調査標本平均見込収穫果実数 ⑲=⑰-⑱+⑱×調整係数()	粒													
	うち調整果実数 ⑳=⑮/⑱×100					見込収穫量 ㉑=Σ(⑲×①×(⑪又は⑮))	kg													

(以下略)

(以下略)

(様式例第2号の1)

[illegible]

(以下略)

現行

(様式例収第2号の2)

令和 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式(ぶどう)連合会抜取調査野帳(着果数調査・区画別)

収穫共済区分		方式		支払開始割合						野帳枚数		枚のうち		枚		
評価 区域名		組合 等名		階 層 区分名		共済 番号		組合員 等氏名		現地調査 年月日⑦	年 月 日	評価 者印				
引受状況						被害状況						日数差 ①-⑦				
樹園地の 地名地番	類区分	細区分	品種	樹 齢	引受 面積	引受 本数	災害の種類	災害発生 年月日	損害通知(定期)					組合等現地評価の結果		
									申 告 収穫量	被害 割合	収穫開始予定 年月日 ④			見 込 収穫量	分 割 減収量	分割事由
	類	群		年	a	本		年月日	kg	%	年 月 日	kg	kg		日	
現地調査 実測着果 面積(区画)		棚区画で行う場合		樹園地区画数 ① 区画		メートル法の樹園地区画数 (②/4㎡)		調査階層別区画数								
								A階層		B階層		C階層				
		メートル法の面積 で行う場合		面 積 ② ㎡				区画		区画		区画				
調査階層区分(A・B・Cの別)																
階層区分別の調査標本数(n)																
調査標本番号																
検見調査果房数 ③				房												
実測調査 (LMS級 別)	果房数(L級) ④			房												
	果房数(M級) ⑤			房												
	果房数(S級) ⑥			房												
	合 計 ⑦			房												
				階層区分をしない場合			階層区分をした場合									
				L	M	S	L	M	S	L	M	S	L	M	S	
果実重 の調査	調査果房数 ⑧			房	房	房										
	総重量 ⑨			g	g	g										
	平均果房重 ⑩=⑨/⑧			g	g	g										
	日数差に応じた果実重肥大推定指数 ⑪															
	修正平均果房重 ⑫=⑩×⑪			g	g	g										
歩合 調査	着果数 ⑬			房												
	⑬の うち	果房数 ⑭			房											
		うち調整果房数 ⑮			房											
	果房数歩合 ⑯=⑭/⑬×100				%											
	うち調整果房数歩合 ⑰=⑮/⑬×100				%											
実測調査の 調査標本数	実測着果数 ⑱			房												
	検見着果数 ⑲			房												
実測修正率 ⑳=⑱/⑲×100					%											
着果数配分率 ㉑=Σ④、⑤又は⑥/⑱×100				%												
調査標本平均果房数 ㉒=Σ③/n×㉑×⑰				房												
うち調査標本平均調整果房数 ㉓=Σ③/n×㉑×⑰				房												
調査標本平均見込収穫果房数 ㉔=㉒-㉓+㉓×調整係数()				房												
見込収穫量 ㉕=Σ(㉔×①×⑫)				分 割 減 収 量				分 割 事 由								
kg				kg												

(以下略)

改正後

(様式例収第2号の2)

令和 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式(ぶどう)連合会抜取調査野帳(着果数調査・区画別)

収穫共済区分		方式		支払開始割合						野帳枚数		枚のうち		枚		
評価 区域名		組合 等名		階 層 区分名		共済 番号		組合員 等氏名		現地調査 年月日㉞	年 月 日	評価 者				
引受状況						被害状況						日数差 ㉞-㉟				
樹園地の 地名地番	類区分	細区分	品種	樹 齢	引受 面積	引受 本数	災害の種類	災害発生 年月日	損害通知(定期)					組合等現地評価の結果		
									申 告 収穫量	被害 割合	収穫開始予定 年月日 ㉞			見 込 収穫量	分 割 減収量	分割事由
	類	群		年	a	本		年月日	kg	%	年 月 日	kg	kg		日	
現地調査 実測着果 面積(区画)		棚区画で行う場合		樹園地区画数 ㉞ 区画		メートル法の樹園地区画数 (㉞/4㎡)		調査階層別区画数								
								A階層		B階層		C階層				
		メートル法の面積 で行う場合		面 積 ㉞ ㎡				区画		区画		区画				
調査階層区分(A・B・Cの別)																
階層区分別の調査標本数(n)																
調査標本番号																
検見調査果房数 ㉞				房												
実測調査 (LMS級 別)	果房数(L級) ㉞			房												
	果房数(M級) ㉞			房												
	果房数(S級) ㉞			房												
	合 計 ㉞			房												
				階層区分をしない場合			階層区分をした場合									
							A階層			B階層			C階層			
				L	M	S	L	M	S	L	M	S	L	M	S	
果実重 の調査	調査果房数 ㉞			房	房	房										
	総重量 ㉞			g	g	g										
	平均果房重 ㉞=㉞/㉞			g	g	g										
	日数差に応じた果実重肥大推定指数 ㉞															
	修正平均果房重 ㉞=㉞×㉞			g	g	g										
歩合 調査	着果数 ㉞			房												
	㉞の うち	果房数 ㉞			房											
		うち調整果房数 ㉞			房											
	果房数歩合 ㉞=㉞/㉞×100			%												
	うち調整果房数歩合 ㉞=㉞/㉞×100			%												
実測調査の 調査標本数	実測着果数 ㉞			房												
	検見着果数 ㉞			房												
実測修正率 ㉞=㉞/㉞×100				%												
着果数配分率 ㉞=Σ㉞、㉞又は㉞/㉞×100				%												
調査標本平均果房数 ㉞=Σ㉞/㉞×㉞×㉞				房												
うち調査標本平均調整果房数 ㉞=Σ㉞/㉞×㉞×㉞				房												
調査標本平均見込収穫果房数 ㉞=㉞-㉞+㉞×調整係数()				房												
見込収穫量 ㉞=Σ(㉞×㉞×㉞)				分 割 減 収 量			分 割 事 由									
kg				kg												

(以下略)

現行

(様式第2号の3)

令和 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式(なし) 連合会抜取調査野帳(着果数調査・樹体4分の1別)

収穫共済区分		方式		支払開始割合				野帳枚数		枚のうち 枚	
評価		組合		階層		共済		組合員		現地調査	年 月 日
区域名		等名		区分名		番号		等氏名		年月日⑦	評価者印

引受状況						被害状況						日数差 ①-⑦			
樹園地の地名地番	類区分	細区分	品種	樹齢	引受面積	引受本数	災害の種類	災害発生年月日	損害通知(定期)				組合等現地評価の結果		
									申告収穫量	被害割合	収穫開始予定年月日①		見込収穫量	分割減収量	分割事由
	類	群		年	a	本		年 月 日	kg	%	年 月 日	kg	kg		日

植栽本数	本 着果樹体数			現地調査の方法	検見	調査
	①					
	階層区部をした場合					
	A階層	B階層	C階層			
	本	本	本	本		樹体4分の1調査

調査階層区分(A・B・Cの別)											
階層区分別の調査標本数(n)											
調査標本番号											

検見調査	主枝別の着果枝(群)数	第 1 主 枝	本(群)									
		第 n 主 枝										
		合 計	②									
		第 1 主 枝	粒									
	主枝別の調査標本(着果枝・着果群等)の着果数	第 n 主 枝										
		合 計										
		平 均	③									
		調査標本の着果数	粒									
		④=②×③										

調査測	樹体4分の1の着果数	⑤	粒								
	調査標本の着果数	⑥=4×⑤×②	粒								

果実重の調査	秤量調査の場合				尺度適用調査の場合																		
	調査果実数 ⑦	階層区分をしない場合	階層区分をした場合			標準果実番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	n	計	平均果実重	日数差に応じた果実重肥大推定指数	修正平均果実重		
			A階層	B階層	C階層		mm											⑫ 粒					
			調査果実数	粒					横径	A													
			総重量	g					縦径	A													
			平均果実重	g					区分	A													
			⑨=⑧/⑦						区分	B													
	日数差に応じた果実重肥大推定指数	⑩				果実重	g										⑬ g	g		g			
	修正平均果実重	⑪=⑨×⑩	g				区分	A															
						区分	B																
					区分	C																	

歩合調査	着果数	⑪=⑨×⑩	g				調査標本平均着果数	粒			分割減収量	kg	分割事由
		⑫=⑧/⑦	g					⑮=Σ④/n×⑭					
		⑬=⑨/⑦×100	%					⑯=⑮×⑭					
		⑭=⑬/⑦×100	%					⑰=⑮×⑭					
	実測着果数	⑮	粒				調査標本平均見込収穫果実数	粒					
		⑯	粒				⑰=⑮-⑯+⑰×調整係数()						
実測修正率	⑰=⑮/⑯×100	%				見込収穫量	kg						

(以下略)

令和 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式(なし) 連合会抜取調査野帳(着果数調査・樹体4分の1別)

収穫共済区分				方式				支払開始割合				野候枚数				枚のうち				枚												
評価		区域名		組合 等名		階層 区分名		共済 番号		組合員 等氏名		現地調査 年月日㉔		年		月		日		評価 者												
引受状況										被害状況										日数差 ①-㉔												
樹園地の地名 地番		類 区分	細 区分	品種	樹齢	引受 面積	引受 本数	災害の 種 類	災害発生 年 月 日	損害通知(定期)			組合等現地評価の結果																			
										申告 収穫量	被害割合	収穫開始予定 年月日 ㉕	見 込 収穫量	分 割 減収量	分割事由																	
		類	群		年	a	本		年 月 日	kg	%	年 月 日	kg	kg		日																
植栽本数		本 着果樹体数						現地調査の方法		検見		調査																				
		①	階層区分をした場合																													
			A階層	B階層	C階層																											
			本	本	本	本																										
調査階層区分(A・B・Cの別)																																
階層区分別の調査標本数(n)																																
調査標本番号																																
検見 調査	主枝別の 着果 枝(群) 数	第 1 主 枝				本(群)																										
		第 n 主 枝																														
		合 計				②																										
		第 1 主 枝				粒																										
	主枝別の 調査標本 (着果枝・ 着果群等) の着果数	第 n 主 枝																														
		合 計																														
		平 均				③																										
		調査標本の着果数				粒																										
		④=②×③																														
調査 実 測	樹体4分の1の着果数				⑤		粒																									
	調査標本の着果数				⑥=4×⑤×②		粒																									
果実重 の 調 査	秤量調査の場合						尺度適用調査の場合																									
	調査果実数		⑦		粒		階層区分を しない場合		階層区分をした場合		A階層		B階層		C階層		標本果実番号										平均 果実重		日数差に応じ た果実重肥大 推定指数		修正平均 果 実 重	
																	横径															
	総重量		⑧		g																											
																											縦径					
	平均果実重		⑨=⑧/⑦		g																											
																											果実重					
	日数差に応じた果実 重肥大推定指数		⑩																													
																											修正平均果実重					
	修正平均果実重		⑪=⑨×⑩		g																											
歩合 調 査	着果数		⑬		粒																											
																											調査標本平均着果数		⑮=Σ⑭/n×⑭		粒	
	果実数		⑯		粒																											
																			うち調整果実数		⑰		粒									
	果実数歩合⑲=⑯/⑬×100		%																													
																	うち調整果実数歩合		%													
	⑳=⑰/⑬×100																															
																	実測着果数		㉑		粒											
	検見着果数		㉒		粒																											
																	実測修正率		㉓		%											

(以下略)

現行

(様式例第2号の4)

令和 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式(キウイフルーツ) 連合会抜取調査野帳(着果数調査・区画別)

収穫共済区分		方式		支払開始割合				野帳枚数		枚のうち 枚											
評価		組合		階層		共済		組合員		現地調査	年 月 日										
区域名		等名		区分名		番号		等氏名		年月日⑦	評価者印										
引受状況						被害状況															
樹園地の地名地番	類区分	細区分	品種	樹齢	引受面積	引受本数	災害の種類	災害発生年月日	損害通知(定期)			組合等現地評価の結果			日数差 ①-⑦						
									申告 収穫量	被害割合	収穫開始予定 年月日 ①	見込 収穫量	分割 減収量	分割事由							
	類	群		年	a	本		年 月 日	kg	%	年 月 日	kg	kg		日						
現地調査実測着果面積(区画)		棚区画で行う場合		樹園地区画数 ①		メートル法の樹園地区画数 ②/4㎡		調査階層別区画数													
		メートル法の面積で行う場合		面積 ②		樹園地区画数 ①		A階層		B階層		C階層									
調査階層区分(A・B・Cの別)																					
階層区分別の調査標本数(n)																					
調査標本番号																					
検見調査着果数 ③																					
実測調査着果数 ④																					
果実重の調査	秤量調査の場合						尺度適用調査の場合														
		階層区分をしない場合	階層区分をした場合			標準果実番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	n	計	平均 果実重	日数差に応じた果実重肥大推定指数	修正平均 果実重	
			A階層	B階層	C階層		mm														⑩
	調査果実数 ⑤	粒				横径 区分	A														
							B														
							C														
	総重量 ⑥	g				縦径 区分	A														
							B														
							C														
	平均果実重 ⑦=⑥/⑤	g				果実重 区分	A											⑫=⑪/⑩	⑬	⑭=⑫×⑬	
B																					
C																					
日数差に応じた果実重肥大推定指数 ⑧					g	A											g		g		
						B															
						C															
修正平均果実重 ⑨=⑦×⑧	g					A															
						B															
						C															
		階層区分をしない場合	階層区分をした場合					階層区分をしない場合		階層区分をした場合											
A階層	B階層		C階層			A階層	B階層	C階層													
歩合調査	果実数 ⑮		粒				調査標本平均着果数 ⑳ = Σ ④ / n × ㉒										粒				
	⑬のうち	果実数 ⑯	粒				調査標本平均果実数 ㉔ = ㉓ × ⑬										粒				
		うち調整果実数 ⑰	粒				うち調査標本平均調整果実数 ㉕ = ㉓ × ⑬										粒				
	果実数歩合 ⑱ = ⑯ / ⑮ × 100		%				調査標本平均見込収穫果実数 ㉖ = ㉔ - ㉕ + ㉓ × 調整係数()										粒				
	うち調整果実数歩合 ⑲ = ⑰ / ⑮ × 100		%				見込収穫量 ㉗ = Σ (㉖ × ① × (⑨又は⑭))										kg				
実測調査の調査標本	実測着果数 ㉚		粒				分割 評価	分割減収量								kg					
	検見着果数 ㉛		粒					分割事由													
	実測修正率 ㉜ = ㉚ / ㉛ × 100		%																		

(注意)

1 この野帳は、キウイフルーツの連合会抜取調査を着果数調査の方法により区画別に行う場合に使用すること。

(以下略)

(様式例[㊤]第2号の4)

令和 年産 収穫共済 半相殺減収総合方式・樹園地減収総合方式(キウイフルーツ) 連合会抜取調査野帳(着果数調査・区画別)

収穫共済区分						方式								支払開始割合							野帳枚数									枚のうち			枚				
評価					組合					階層					共済					組合員					現地調査		年		月		日		評価者				
区域名					等名					区分名					番号					等氏名					年月日㉔												
引受状況										被害状況																		日数差 ①-㉙									
樹園地の地名 地番		類区分	細区分	品種		樹齢		引受面積		引受本数		災害の種類		災害発生年月日		損害通知(定期)			組合等現地評価の結果			日数差 ①-㉙															
																申告収穫量	被害割合	収穫開始予定年月日 ㉕	見込収穫量	分割減収量	分割事由																
		類	群			年		a		本				年月日		kg	%	年月日	kg	kg																	
現地調査実測着果面積(区画)				棚区画で行う場合				樹園地区画数 ①				メートル法の樹園地区画数 (㉖)/4㎡				調査階層別区画数										区画											
				メートル法で面積を行う場合				面積 ②				樹園地区画数 ①				A階層			B階層			C階層															
												㎡				区画				区画			区画			区画											
調査階層区分(A・B・Cの別)																																					
階層区分別の調査標本数(n)																																					
調査標本番号																																					
検見調査着果数 ③																																					
実測調査着果数 ④																																					
果実重の調査	秤量調査の場合										尺度適用調査の場合																										
			階層区分をしない場合		階層区分をした場合						標準果実番号										n		計		平均果実重		日数差に応じた果実重肥大推定指数		修正平均果実重								
					A階層		B階層		C階層		mm		1		2		3		4												5		6		7		8
	調査果実数 ⑤		粒								横径		階層区分		A		B		C																		
	総重量 ⑥		g								縦径		階層区分		A		B		C																		
	平均果実重 ⑦=⑥/⑤		g								果実重		階層区分		A		B		C																		
	日数差に応じた果実重肥大推定指数 ⑧																																				
修正平均果実重 ⑨=⑦×⑧		g																																			
歩合調査			階層区分をしない場合		階層区分をした場合																階層区分をしない場合		階層区分をした場合														
					A階層		B階層		C階層														A階層		B階層		C階層										
	果実数 ⑮		粒								調査標本平均着果数 ㉚=Σ④/n×㉛										粒																
	⑮のうち		果実数 ⑯		粒						調査標本平均果実数 ㉜=㉚×⑮										粒																
			うち調整果実数 ⑰		粒						うち調査標本平均調整果実数 ㉝=㉚×⑰										粒																
果実数歩合 ⑱=⑯/⑮×100		%								調査標平均見込収穫果実数 ㉞=㉜-㉝+㉝×調整係数()										粒																	
うち調整果実数歩合 ㉟=⑰/⑮×100		%								見込収穫量 ㉟=Σ(㉞×①×(⑨又は⑭))										kg																	
実測調査の調査標本	実測着果数 ㉑		粒								分割評価	分割減収量																				kg					
	検見着果数 ㉒		粒									分割事由																									
	実測修正率 ㉓=㉑/㉒×100		%																																		

(注意)

1 この野帳は、キウイフルーツの連合会採取調査を着果数調査の方法により区画別に行う場合に使用すること。

(以下略)

現行

(様式例収第4号の1)

令和 年産 収穫共済 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式(樹種名)連合会抜取調査野帳(損傷歩合調査)

共済事故等による種別		方式						野帳枚数		枚のうち 枚												
評価 区域名		組合 等名		階 層 区分名		共済 番号		組合員等 氏 名														
引受状況																						
類区分	樹園地の地名地番		細区分		品種		樹齢	引受面積	引受本数													
類			群				年	a	本													
被害状況																						
事故発生通知						組合等現地評価の結果																
災害の種類	災害発生年月日	災害発生回数	減収歩合	減収歩合	分割減収量	分割事由																
	年月日	回	%	%	kg																	
植栽本数	本	着果樹体数				評価 年月日	年 月 日	評価 者印														
		階層区分をした場合																				
		A階層	B階層	C階層																		
		本	本	本	本																	
調査階層区分(A・B・Cの別)	調査標本番号			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	》	n	合計	平均	減収歩合
階層	調査部位																					%
	花そう等総合 ①																					
	うち損傷数 ②																					
	損傷歩合 ③=②/①×100 %			%																		
	調査部位																			合計	平均	減収歩合
	花そう等総合 ①																					%
	うち損傷数 ②																					
	損傷歩合 ③=②/①×100 %			%																		
	調査部位																			合計	平均	減収歩合
	花そう等総合 ①																					%
	うち損傷数 ②																					
	損傷歩合 ③=②/①×100 %			%																		
分割減収歩合 (分割減収量)	% (kg)		分割事由									平均減収歩合 (加重値)		%								

(注意)

- この野帳は、発芽(開花)期から摘果終了時前までに発生したすべての災害について行う損傷歩合調査に使用すること。
- 評価者は、調査に先立って組合等の「損害評価野帳」(損害評価要綱様式例第6-1号又は第6-2号)から必要事項を転記すること。
- 「着果樹体数」欄は、現地調査において確認した実際に着果している樹体の数を記入すること。
- 「花そう等総数」欄は、調査部位の全花(果)そう数又は全花(果・房)数を記入するものとする。なお、落花(果)そう又は落花(果・房)があるときは、当該落花(果)そう又は落花(果・房)を含めること。「うち損傷数」欄は、枯死又は落花(果)(花(果)そうの場合は花(果)そう内の全花(果)が枯死又は落花(果))した数を記入すること。
- 「減収歩合」欄は、「損傷歩合の平均」を別表7の減収推定尺度に適用して記入すること。
- 「平均減収歩合(加重値)」欄は、各階層ごとの着果樹体数を重みとし、各階層ごとの減収歩合を加重平均して得た数値を記入すること。
- 損傷歩合は、小数点以下第1位を四捨五入して整数位まで記入すること。

改正後

(様式例収第4号の1)

令和 年産 収穫共済 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式(樹種名)連合会抜取調査野帳(損傷歩合調査)

共済事故等による種別		方式						野帳枚数		枚のうち 枚												
評価 区域名		組合 等名		階 層 区分名		共済 番号		組合員等 氏 名														
引受状況																						
類区分	樹園地の地名地番		細区分		品種		樹齢	引受面積	引受本数													
類			群				年	a	本													
被害状況																						
事故発生通知						組合等現地評価の結果																
災害の種類	災害発生年月日	災害発生回数	減収歩合	減収歩合	分割減収量	分割事由																
	年月日	回	%	%	kg																	
植栽本数	本	着果樹体数				評価 年月日	年 月 日	評価者														
		階層区分をした場合																				
		A階層	B階層	C階層																		
		本	本	本	本																	
調査階層区分(A・B・Cの別)	調査標本番号			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	》	n	合計	平均	減収歩合
階層	調査部位																					%
	花そう等総合 ①																					
	うち損傷数 ②																					
	損傷歩合 ③=②/①×100 %			%																		
	調査部位																			合計	平均	減収歩合
	花そう等総合 ①																					%
	うち損傷数 ②																					
	損傷歩合 ③=②/①×100 %			%																		
	調査部位																			合計	平均	減収歩合
	花そう等総合 ①																					%
	うち損傷数 ②																					
	損傷歩合 ③=②/①×100 %			%																		
分割減収歩合 (分割減収量)	% (kg)		分割事由										平均減収歩合 (加重値)		%							

(注意)

- この野帳は、発芽(開花)期から摘果終了時前までに発生したすべての災害について行う損傷歩合調査に使用すること。
- 評価者は、調査に先立って組合等の「損害評価野帳」(損害評価要綱様式例第6-1号又は第6-2号)から必要事項を転記すること。
- 「着果樹体数」欄は、現地調査において確認した実際に着果している樹体の数を記入すること。
- 「花そう等総数」欄は、調査部位の全花(果)そう数又は全花(果・房)数を記入するものとする。なお、落花(果)そう又は落花(果・房)があるときは、当該落花(果)そう又は落花(果・房)を含めること。「うち損傷数」欄は、枯死又は落花(果)(花(果)そうの場合は花(果)そう内の全花(果)が枯死又は落花(果))した数を記入すること。
- 「減収歩合」欄は、「損傷歩合の平均」を別表7の減収推定尺度に適用して記入すること。
- 「平均減収歩合(加重値)」欄は、各階層ごとの着果樹体数を重みとし、各階層ごとの減収歩合を加重平均して得た数値を記入すること。
- 損傷歩合は、小数点以下第1位を四捨五入して整数位まで記入すること。

現行

(様式例第4号の2)

令和 年産 収穫共済 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式(樹種名) 連合会抜取調査野帳(落果数調査)

共済事故等による種別		方式					野帳枚数		枚のうち 枚			
評価 区域名		組合 等名		階 層 区分名		共済 番号		組合員等 氏 名				
引受状況												
類区分	樹園地の地名地番		細区分		品 種		樹 齢	引受面積	引受本数			
類			群				年	a	本			
被害状況												
事故発生通知						組合等現地評価の結果						
共済事故の種類		共済事故発生年月日		共済事故発生回数		見込減収量		見込減収量		分割事由		
		年月日		回		kg		kg				
植栽本数	本	着果樹体数 ①	階層区分をした場合			評 価 年月日	年 月 日	評 価 者印				
			A階層	B階層	C階層							
			本	本	本							
			本	本	本							
調査階層区分(A・B・Cの別)		調査標本・集積か所番号		1	2	3	4	5	n	計	平均	
階層		1樹(区画・集積か所)の落果数		粒						② (③ 粒)	⑥	
		歩合 調査	落果被害果実数		粒						④	⑦=④/③×100 %
			落果調整果実数		粒						⑤	⑧=⑤/③×100 %
		総落果数 ⑨=⑥×①		落果被害果実数 ⑩=④×⑦		落果調整果実数 ⑪=⑤×⑧						
		粒		粒		粒						
階層		1樹(区画・集積か所)の落果数		粒						② (③ 粒)	⑥	
		歩合 調査	落果被害果実数		粒						④	⑦=④/③×100 %
			落果調整果実数		粒						⑤	⑧=⑤/③×100 %
		総落果数 ⑨=⑥×①		落果被害果実数 ⑩=④×⑦		落果調整果実数 ⑪=⑤×⑧						
		粒		粒		粒						
階層		1樹(区画・集積か所)の落果数		粒						② (③ 粒)	⑥	
		歩合 調査	落果被害果実数		粒						④	⑦=④/③×100 %
			落果調整果実数		粒						⑤	⑧=⑤/③×100 %
		総落果数 ⑨=⑥×①		落果被害果実数 ⑩=④×⑦		落果調整果実数 ⑪=⑤×⑧						
		粒		粒		粒						
計		総落果数		落果被害果実数		落果調整果実数						
		Σ ⑨ 粒		Σ ⑩ 粒		Σ ⑪ 粒						
		分割減収果数(分割減収量)		分割事由								
		粒(kg)										

(注意)

- この野帳は、摘果終了時後から収穫期前までに発生した共済事故について行う落果数調査及び落果集積か所別調査に使用すること。
- 評価者は、調査に先立って組合等の「損害評価野帳」(損害評価要綱様式例第6-1号又は第6-2号)から必要事項を転記すること。
- 「共済事故発生回数」欄は、摘果終了時後からの発生回数を記入すること。
- 「着果樹体数」欄は、現地調査において確認した実際に着果している樹体の数を記入すること。
- 「1樹(区画・集積か所)の落果数」の「計」欄の()内は、歩合調査に係る調査標本の落果数を記入すること。
なお、調査標本のうち歩合調査の対象となる調査標本については、「調査標本番号」欄の番号に○印を付すること。
- 「総落果数」、「落果被害果実数」及び「落果調整果実数」欄は、落果集積か所別調査を行った場合には、「1樹(区画・集積か所)の落果数」の「計」欄から転記すること。
- 果実数は、小数点以下第1位を四捨五入して整数位まで記入すること。歩合は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。

改正後

(様式例第4号の2)

令和 年産 収穫共済 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式(樹種名) 連合会抜取調査野帳(落果数調査)

共済事故等による種別		方式					野帳枚数		枚のうち 枚			
評価 区域名		組合 等名		階 層 区分名		共済 番号		組合員等 氏 名				
引受状況												
類区分	樹園地の地名地番		細区分		品 種		樹 齢	引受面積	引受本数			
類			群				年	a	本			
被害状況												
事故発生通知						組合等現地評価の結果						
共済事故の種類		共済事故発生年月日		共済事故発生回数		見込減収量		見込減収量		分割事由		
		年月日		回		kg		kg		kg		
植栽本数	本	着果樹体数 ①	階層区分をした場合			評 価 年月日	年 月 日	評 価 者				
			A階層	B階層	C階層							
			本	本	本							
			本	本	本							
調査階層区分(A・B・Cの別)		調査標本・集積か所番号		1	2	3	4	5	n	計	平均	
階層		1樹(区画・集積か所)の落果数		粒						② (③ 粒)	⑥	
		歩合 調査	落果被害果実数		粒						④	⑦=④/③×100 %
			落果調整果実数		粒						⑤	⑧=⑤/③×100 %
		総落果数 ⑨=⑥×①		落果被害果実数 ⑩=④×⑦		落果調整果実数 ⑪=⑤×⑧						
		粒		粒		粒		粒		粒		
		1樹(区画・集積か所)の落果数		粒						② (③ 粒)	⑥	
		歩合 調査	落果被害果実数		粒						④	⑦=④/③×100 %
			落果調整果実数		粒						⑤	⑧=⑤/③×100 %
		総落果数 ⑨=⑥×①		落果被害果実数 ⑩=④×⑦		落果調整果実数 ⑪=⑤×⑧						
		粒		粒		粒		粒		粒		
		1樹(区画・集積か所)の落果数		粒						② (③ 粒)	⑥	
		歩合 調査	落果被害果実数		粒						④	⑦=④/③×100 %
			落果調整果実数		粒						⑤	⑧=⑤/③×100 %
		総落果数 ⑨=⑥×①		落果被害果実数 ⑩=④×⑦		落果調整果実数 ⑪=⑤×⑧						
		粒		粒		粒		粒		粒		
計		総落果数		落果被害果実数		落果調整果実数						
		Σ ⑨ 粒		Σ ⑩ 粒		Σ ⑪ 粒						
分割減収果数(分割減収量)		分割事由										
粒(kg)												

(注意)

- この野帳は、摘果終了時後から収穫期前までに発生した共済事故について行う落果数調査及び落果集積か所別調査に使用すること。
- 評価者は、調査に先立って組合等の「損害評価野帳」(損害評価要綱様式例第6-1号又は第6-2号)から必要事項を転記すること。
- 「共済事故発生回数」欄は、摘果終了時後からの発生回数を記入すること。
- 「着果樹体数」欄は、現地調査において確認した実際に着果している樹体の数を記入すること。
- 「1樹(区画・集積か所)の落果数」の「計」欄の()内は、歩合調査に係る調査標本の落果数を記入すること。
なお、調査標本のうち歩合調査の対象となる調査標本については、「調査標本番号」欄の番号に○印を付すること。
- 「総落果数」、「落果被害果実数」及び「落果調整果実数」欄は、落果集積か所別調査を行った場合には、「1樹(区画・集積か所)の落果数」の「計」欄から転記すること。
- 果実数は、小数点以下第1位を四捨五入して整数位まで記入すること。歩合は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。

現行

(様式例第4号の3)

令和 年産 収穫共済 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式(樹種名) 連合会抜取調査野帳(着果数調査)

共済事故等による種別		方式						野帳枚数		枚のうち 枚			
評価 区域名		組合 等名		階 層 区分名		共済 番号		組合員等 氏 名					
引受状況													
類区分		樹園地の地名地番		細区分		品種		樹 齢		引受面積			
類				群				年		a 本			
植栽本数	本	着果樹体数				評 価 年月日	年 月 日	評 価 者印					
		① 階層区分をした場合											
		A階層		B階層								C階層	
		本	本	本	本								
調査階層区分(A・B・Cの別)		調査標本番号		1	2	3	4	5	n	計	平均		
階層	1樹(区画)の着果数		粒							② (③ 粒)	⑥		
	歩合 調査	着果被害果実数	粒							④	⑦=④/③×100 %		
		着果調整果実数	粒							⑤	⑧=⑤/③×100 %		
	総着果数 ⑨=⑥×①		着果被害果実数 ⑩=⑨×⑦				着果調整果実数 ⑪=⑨×⑧						
	粒		粒				粒						
歩合 調査	1樹(区画)の着果数		粒							② (③ 粒)	⑥		
	歩合 調査	着果被害果実数	粒							④	⑦=④/③×100 %		
		着果調整果実数	粒							⑤	⑧=⑤/③×100 %		
	総着果数 ⑨=⑥×①		着果被害果実数 ⑩=⑨×⑦				着果調整果実数 ⑪=⑨×⑧						
	粒		粒				粒						
歩合 調査	1樹(区画)の着果数		粒							② (③ 粒)	⑥		
	歩合 調査	着果被害果実数	粒							④	⑦=④/③×100 %		
		着果調整果実数	粒							⑤	⑧=⑤/③×100 %		
	総着果数 ⑨=⑥×①		着果被害果実数 ⑩=⑨×⑦				着果調整果実数 ⑪=⑨×⑧						
	粒		粒				粒						
計	総着果数		着果被害果実数				着果調整果実数						
	Σ ⑨ 粒		Σ ⑩ 粒				Σ ⑪ 粒						
分割減収果数(分割減収量)		分割事由							調査標本平均着果数(加重値)				
粒(kg)									粒				

(注意)

- この野帳は、摘果終了時に行う着果数調査及び適正着果数調査並びに収穫期に行う着果数調査に使用すること。
- 評価者は、調査に先立って組合等の「損害評価野帳」(損害評価要綱様式例第6-1号又は第6-4号)から必要事項を転記すること。
- 「着果樹体数」欄は、現地調査において確認した実際に着果している樹体の数を記入すること。
- 「1樹(区画)の着果数」の「計」欄の()内は、歩合調査に係る調査標本の着果数を記入すること。
なお、調査標本のうち歩合調査の対象となる調査標本樹体については、「調査標本番号」欄の番号に○印を付すること。
- 「歩合調査」欄は、収穫期に行う着果被害果実数歩合調査及び着果調整果実数歩合調査の結果を記入すること。
- 「調査標本平均着果数(加重値)」欄は、各階層ごとの着果樹体数を重みとし、各階層ごとの平均着果数を加重平均して得た数値を帰入すること。
- 果実数は、小数点以下第1位を四捨五入して整数位まで記入すること。歩合は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。

改正後

(様式例第4号の3)

令和 年産 収穫共済 半相殺特定危険方式・樹園地特定危険方式(樹種名) 連合会抜取調査野帳(着果数調査)

共済事故等による種別		方式						野帳枚数		枚のうち 枚			
評価 区域名		組合 等名		階 層 区分名		共済 番号		組合員等 氏 名					
引受状況													
類区分		樹園地の地名地番		細区分		品種		樹 齢		引受面積			
類				群				年		a 本			
植栽本数	本	着果樹体数				評 価 年月日	年 月 日	評 価 者					
		① 階層区分をした場合											
		A階層		B階層								C階層	
		本	本	本	本								
調査階層区分(A・B・Cの別)		調査標本番号		1	2	3	4	5	n	計	平均		
階層	1樹(区画)の着果数		粒							② (③ 粒)	⑥		
	歩合 調査	着果被害果実数	粒							④	⑦=④/③×100 %		
		着果調整果実数	粒							⑤	⑧=⑤/③×100 %		
	総着果数 ⑨=⑥×①			着果被害果実数 ⑩=⑨×⑦					着果調整果実数 ⑪=⑨×⑧				
	粒			粒					粒				
	1樹(区画)の着果数		粒							② (③ 粒)	⑥		
	歩合 調査	着果被害果実数	粒							④	⑦=④/③×100 %		
		着果調整果実数	粒							⑤	⑧=⑤/③×100 %		
	総着果数 ⑨=⑥×①			着果被害果実数 ⑩=⑨×⑦					着果調整果実数 ⑪=⑨×⑧				
	粒			粒					粒				
	1樹(区画)の着果数		粒							② (③ 粒)	⑥		
	歩合 調査	着果被害果実数	粒							④	⑦=④/③×100 %		
		着果調整果実数	粒							⑤	⑧=⑤/③×100 %		
	総着果数 ⑨=⑥×①			着果被害果実数 ⑩=⑨×⑦					着果調整果実数 ⑪=⑨×⑧				
	粒			粒					粒				
計	総着果数		着果被害果実数					着果調整果実数					
	Σ ⑨ 粒		Σ ⑩ 粒					Σ ⑪ 粒					
	分割減収果数(分割減収量)		分割事由							調査標本平均着果数(加重値)			
粒(kg)									粒				

(注意)

- この野帳は、摘果終了時に行う着果数調査及び適正着果数調査並びに収穫期に行う着果数調査に使用すること。
- 評価者は、調査に先立って組合等の「損害評価野帳」(損害評価要綱様式例第6-1号又は第6-4号)から必要事項を転記すること。
- 「着果樹体数」欄は、現地調査において確認した実際に着果している樹体の数を記入すること。
- 「1樹(区画)の着果数」の「計」欄の()内は、歩合調査に係る調査標本の着果数を記入すること。
なお、調査標本のうち歩合調査の対象となる調査標本樹体については、「調査標本番号」欄の番号に○印を付すること。
- 「歩合調査」欄は、収穫期に行う着果被害果実数歩合調査及び着果調整果実数歩合調査の結果を記入すること。
- 「調査標本平均着果数(加重値)」欄は、各階層ごとの着果樹体数を重みとし、各階層ごとの平均着果数を加重平均して得た数値を帰入すること。
- 果実数は、小数点以下第1位を四捨五入して整数位まで記入すること。歩合は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。

令和 年度引受 樹体共済(樹種名)連合会抜取調査野帳

																		野帳枚数		枚のうち 枚													
																		評 価 区域名		組合等名		共済番号		組合員等 氏 名		評 価 年月日		年月日		評価者印			
引受状況					損害通知(定期報告)					組合等現地評価の結果					連合会抜取調査の結果																		
類 区 分	樹園地の 地名地番	細 区 分	樹齢及び その区分		引受 面積	引受 本数	一 本 当 た り の 共 済 価 額	災害の 種 類	災害発生 年 月 日	被害状況	全損 本数	分損 本数	全損 本数	分損		合計 本数	損害額	分割 損害額	分割 事由	損害本数及 び全損換算 本数の別	損害程度別本数(損害程度の中央値・%)							損害額 ④＝ ①×Σ③	分 割 損害額	分割事由			
			樹 齢 区 分	樹 齢										全損本数 損害程度 の中央値 100%	分損本数						合計												
															90%以上 (95%)							90%未満 80%以上 (85%)	80%未満 70%以上 (75%)	70%未満 60%以上 (65%)	60%未満 50%以上 (55%)								
類		群			年	a	本	円	年月日		本	本	本	本	本	本	円	円		損害本数 ②	本	本	本	本	本	本	本	円	円				
																			全損換算 本数③＝ ②×中央値							Σ③							
																			〃														
																			〃														
	計																			〃													
																				〃													
																				〃													
																				〃													
																				〃													
	計																			〃													
合計																			〃														
																			〃														

(注意)

1 評価者は、評価に先立って組合等の「損害評価野帳」(損害評価要綱様式例第24号)から必要事項を転記すること。

2 「全損換算本数(③＝②×中央値)」欄は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。

令和 年度引受 樹体共済(樹種名)連合会抜取調査野帳

																				野帳枚数	枚のうち	枚																											
																				評価者																													
引受状況					損害通知(定期報告)					組合等現地評価の結果										連合会抜取調査の結果																													
類 区 分	樹園地の 地名地番	細 区 分	樹齢及び その区分		引受 面積	引受 本数	一 本 当 た り の 共 済 価 額	災害の 種 類	災害発生 年 月 日	被害状況	全損 本数	分損 本数	全損 本数	分損		合計 本数	損害額	分割 損害額	分割 事由	損害本数及 び全損換算 本数の別	損害程度別本数(損害程度の中央値・%)							損害額 ④＝ ①×Σ③	分 割 損害額	分割事由																			
			樹 齢	樹 齢 区 分																	全損本数 損害程度 の中央値 100%	分損本数																											
																						90%以上 (95%)	90%未満 ～ 80%以上 (85%)	80%未満 ～ 70%以上 (75%)	70%未満 ～ 60%以上 (65%)	60%未満 ～ 50%以上 (55%)	合計																						
類		群			年	a	本	円	年月日		本	本	本	本	本	本	円	円		損害本数 ②	本	本	本	本	本	本	本	円	円																				
																			全損換算 本数③＝ ②×中央値								Σ③																						
																			〃																														
																			〃																														
	計																		〃																														
																			〃																														
																			〃																														
																			〃																														
																			〃																														
																			〃																														
	計																		〃																														
																			〃																														
合計																			〃																														
																			〃																														

(注意)
1 評価者は、評価に先立って組合等の「損害評価野帳」(損害評価要綱様式例第24号)から必要事項を転記すること。
2 「全損換算本数(③＝②×中央値)」欄は、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで記入すること。

附 則

- 1 この通知は、令和2年12月25日から施行する。
2 この通知の施行の際現にあるこの通知による改正前の様式(次項において「旧様式」という。)により使用されている書類は、この通知による改正後の様式によるものとみなす。
3 この通知の施行の際現にある旧様式による用紙については、当分の間、これを使用することができる。この場合において、押印は要しないものとする。